

1997年(平成9年)11月7日 金曜日

(3)☆

(第3種郵便物認可)

## 福祉に全力投球

③

厚生省から「リフト」の認可が下りず悩む滝沢のもとに、聖マリヤンナ医科大学からソリ付き歩行器を着用婦の月刊誌で紹介したので、写真を買ってほしいと依頼が舞い込んだ。

かつて母が神奈川県理学療法士学会で発表した「家庭内使用可能な歩行器の試作」の講演がきっかけだった。ソリ付き四輪歩行器とは、前輪部にナイロン製のソリを付けたもので、両腕にまっ

## 大学に治験実施提案

かつて母が神奈川県理学療法士学会で発表した「家庭内使用可能な歩行器の試作」の講演がきっかけで歩行器の開発が始まる。九四年一月には、新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)が募集した福祉機器の費用



展示会などに出展して地道な営業を続ける

ちょうどそのころ滝沢のもとに、神奈川県の県

化助成金に選ばれたが、「たごえNEDOで受賞しても、名もない新規参入組の商品など絶対に売れない」と新たに東大をはじめ各大学に治験の実施を提案する。滝沢は八七年に歩行器の特許はとっていたが、

これまで売り上げはななく、介護用のクッションなどで最高でも年間百八十万円の収入しかなかった。「正直もったいなくて考えていただけに、大喜びしたという。滝沢の心が揺れるその時、各大学に投げていた治験のボールが次々に舞い戻ってきたのだった。

(敬称略)

道